

「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」における工程表

申請担当大学名	長崎大学
連携大学名	熊本大学、鹿児島大学
事業名	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト ～地域とくらしを支える医療人の育成～

① 本事業終了後の達成目標

	本事業終了後の達成目標
達成目標	<p>連携3大学(長崎大学・熊本大学・鹿児島大学)では、医学教育モデル・コア・カリキュラムや社会の変化、医学教育分野別評価等を通して医学教育改革を進めてきたが、医学教育分野別評価報告書では水平的・垂直的統合をさらに進め、プライマリ・ケア教育を一層充実させる必要性が類似した課題として指摘されている。本事業では、上記3大学が自学のカリキュラムを自己評価して課題を抽出するとともに、課題解決に向け各大学が強味を持ち寄ってお互いの教育を拡充することで、それまで大学独自に改革を試みてきた教育の質を一気に向上させ、地域で求められる医療人の育成と地域医療の確保に貢献することが期待される。コロナ禍に加え、医師の働き方改革やタスクシフトが進められ、医療現場でのon-the-job trainigが難しくなる中、オンデマンド教材やVRコンテンツなど新たな技術シーズを活用した医学教育は、まさに時宜を得た教育改革であり、今後の教育手法や教育効果に好影響を及ぼすことに加え、映像産業界等の他分野に対しても大きな影響を与えることが期待される。本事業の実施によって、アクティブラーニングと大学間連携・交流が促進され、多様な地域で柔軟性を持ってリーダーシップを発揮できる能力の養成と、地域課題・地域ニーズを自ら感じ取り、解決に向けた行動に主体性を持って取り組む態度の育成につながることが期待される。</p>

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会を設置し本事業を推進する(月1回開催) ・連携教育合同委員会を設置し大学間連携を推進する(年1回開催) ・3大学合同フォーラムを開催する(年1回開催) ・本事業の円滑な管理運営を行うための事業評価・管理委員会を設置する。(年1回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会を設置し本事業を推進する(月1回開催) ・連携教育合同委員会を設置し大学間連携を推進する(年1回開催) ・3大学合同フォーラムを開催する(年1回開催) ・本事業の円滑な管理運営を行うための事業評価・管理委員会を設置する。(年2回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会を設置し本事業を推進する(月1回開催) ・連携教育合同委員会を設置し大学間連携を推進する(年1回開催) ・3大学合同フォーラムを開催する(年1回開催) ・本事業の円滑な管理運営を行うための事業評価・管理委員会を設置する。(年2回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会を設置し本事業を推進する(月1回開催) ・連携教育合同委員会を設置し大学間連携を推進する(年1回開催) ・3大学合同フォーラムを開催する(年1回開催) ・本事業の円滑な管理運営を行うための事業評価・管理委員会を設置する。(年2回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会を設置し本事業を推進する(月1回開催) ・連携教育合同委員会を設置し大学間連携を推進する(年1回開催) ・3大学合同フォーラムを開催する(年1回開催) ・本事業の円滑な管理運営を行うための事業評価・管理委員会を設置する。(年2回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会を設置し本事業を推進する(月1回開催) ・連携教育合同委員会を設置し大学間連携を推進する(年1回開催) ・3大学合同フォーラムを開催する(年1回開催) ・本事業の円滑な管理運営を行うための事業評価・管理委員会を設置する。(年2回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会を設置し本事業を推進する(月1回開催) ・連携教育合同委員会を設置し大学間連携を推進する(年1回開催) ・3大学合同フォーラムを開催する(年1回開催) ・本事業の円滑な管理運営を行うための事業評価・管理委員会を設置する。(年2回開催)
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・連携教育センターの教員人選開始、内規作成に着手、ICT基盤整備に着手、事業推進委員会、連携教育合同委員会、事業評価・管理委員会、外部評価委員会の調整 ・各種内規の整備、令和5年度授業の改編着手、オンデマンド教材作成に着手、連携教育センター設立、キックオフミーティング(第1回連携教育合同委員会) ・VR教育の準備開始、コンテンツ作成・教育プログラムの実施開始 ・3大学単位互換協定の締結、VRコンテンツの作成に着手 ・キックオフシンポジウムの開催、地域医療交流実習プログラムの開始 ・第1回事業評価・管理委員会、外部評価委員会の開催、成果報告・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会、連携教育合同委員会の開催 ・教育プログラム実施 ・オンデマンド教材作成 ・地域医療交流実習プログラム実施 ・令和6年度授業の改編着手 ・3大学合同シンポジウム開催 ・事業評価・管理委員会 ・外部評価委員会の開催 ・成果報告・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会、連携教育合同委員会の開催 ・教育プログラム実施 ・オンデマンド教材作成 ・地域医療交流実習プログラム実施 ・令和7年度授業の改編着手 ・3大学合同シンポジウム開催 ・事業評価・管理委員会 ・外部評価委員会の開催 ・成果報告・情報収集 ・全国シンポジウムを開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会、連携教育合同委員会の開催 ・教育プログラム実施 ・オンデマンド教材作成 ・地域医療交流実習プログラム実施 ・令和8年度授業の改編着手 ・3大学合同シンポジウム開催 ・事業評価・管理委員会 ・外部評価委員会の開催 ・成果報告・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会、連携教育合同委員会の開催 ・教育プログラム実施 ・オンデマンド教材作成 ・地域医療交流実習プログラム実施 ・令和9年度授業の改編着手 ・3大学合同シンポジウム開催 ・事業評価・管理委員会 ・外部評価委員会の開催 ・成果報告・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会、連携教育合同委員会の開催 ・教育プログラム実施 ・オンデマンド教材作成 ・地域医療交流実習プログラム実施 ・令和10年度授業の改編着手 ・3大学合同シンポジウム開催 ・事業評価・管理委員会 ・外部評価委員会の開催 ・成果報告・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会、連携教育合同委員会の開催 ・教育プログラム実施 ・オンデマンド教材作成 ・地域医療交流実習プログラム実施 ・3大学合同シンポジウム開催 ・事業評価・管理委員会 ・外部評価委員会の開催 ・成果報告

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	・大学別プログラム受講者124名 ・連携プログラム受講者 6名 ・デジタル・オンデマンド教材 3本	・大学別プログラム受講者1624名 ・連携プログラム受講者 31名 ・デジタル・オンデマンド教材 10本	・大学別プログラム受講者1687名 ・連携プログラム受講者 87名 ・デジタル・オンデマンド教材 10本	・大学別プログラム受講者1698名 ・連携プログラム受講者 84名 ・デジタル・オンデマンド教材 10本	・大学別プログラム受講者1685名 ・連携プログラム受講者 84名 ・デジタル・オンデマンド教材 5本	・大学別プログラム受講者1684名 ・連携プログラム受講者 87名 ・デジタル・オンデマンド教材 5本	・大学別プログラム受講者1684名 ・連携プログラム受講者 87名 ・デジタル・オンデマンド教材 5本
	定性的なもの	・各大学に設置する連携教育センターが本事業を円滑に運営する ・拠点・連携校での令和4年度カリキュラム開始 令和5年4月開講 カリキュラムの履修生募集開始	・各大学に設置する連携教育センターが本事業を円滑に運営する ・ホームページ、SNSによる情報発信	・各大学に設置する連携教育センターが本事業を円滑に運営する ・ホームページ、SNSによる情報発信	・各大学に設置する連携教育センターが本事業を円滑に運営する ・ホームページ、SNSによる情報発信	・各大学に設置する連携教育センターが本事業を円滑に運営する ・ホームページ、SNSによる情報発信	・各大学に設置する連携教育センターが本事業を円滑に運営する ・ホームページ、SNSによる情報発信	・各大学に設置する連携教育センターが本事業を円滑に運営する ・ホームページ、SNSによる情報発信
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの		・地域卒志望者数前年比2%増 ・プログラム修了者の県内定着率(卒業者のうち県内医療機関マッチ者/初期研修医総数)50% ・FD受講者数前年比2%増 ・ホームページ、SNSアクセス数前年比2%増	・地域卒志望者数前年比2%増 ・プログラム修了者の県内定着率(卒業者のうち県内医療機関マッチ者/初期研修医総数)50% ・FD受講者数前年比2%増 ・ホームページ、SNSアクセス数前年比2%増	・地域卒志望者数前年比2%増 ・プログラム修了者の県内定着率(卒業者のうち県内医療機関マッチ者/初期研修医総数)50% ・FD受講者数前年比2%増 ・ホームページ、SNSアクセス数前年比2%増	・地域卒志望者数前年比2%増 ・プログラム修了者の県内定着率(卒業者のうち県内医療機関マッチ者/初期研修医総数)50% ・R5プログラム修了者の県内専門医プログラム登録率40% ・FD受講者数前年比2%増 ・ホームページ、SNSアクセス数前年比2%増	・地域卒志望者数前年比2%増 ・プログラム修了者の県内定着率(卒業者のうち県内医療機関マッチ者/初期研修医総数)50% ・R6プログラム修了者の県内専門医プログラム登録率40% ・FD受講者数前年比2%増 ・ホームページ、SNSアクセス数前年比2%増	・地域卒志望者数前年比2%増 ・プログラム修了者の県内定着率(卒業者のうち県内医療機関マッチ者/初期研修医総数)50% ・R7プログラム修了者の県内専門医プログラム登録率40% ・FD受講者数前年比2%増 ・ホームページ、SNSアクセス数前年比2%増
	定性的なもの	・本プロジェクトの幅広い周知(ホームページとSNSの開設)	・地域で求められる医療人の育成と持続可能な大学間連携教育システムの稼働	・地域で求められる医療人の育成と持続可能な大学間連携教育システムを整備する	・地域で求められる医療人の育成と持続可能な大学間連携教育システムを整備する ・中間評価による成果を発信する	・地域で求められる医療人の育成と持続可能な大学間連携教育システムを整備する	・地域で求められる医療人の育成と持続可能な大学間連携教育システムを整備する	・地域で求められる医療人の育成と持続可能な大学間連携教育システムの継続を検討する。 ・最終評価による成果を発信する

③ 選定委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	常に先進的・革新的な取組内容となるよう自己点検・評価のみならず、医療現場・自治体等のニーズを取り入れるための努力を欠かさないこと。	事業評価・管理委員会による事業点検以外に、外部評価委員会には医師会や自治体からの委員参画により、医療現場と自治体のニーズを取り入れていく。
②	代表校のみならず連携校も含め、長期的な展望に基づく具体的な事業継続方針を策定の上、補助期間終了後は、成果の波及とともに更に発展的な取組として実施できるよう工夫して取り組むこと。	拠点校と連携大学は緊密な連携体制により事業を推進し、連携教育の実績を広く社会に発信する。加えて、本事業の成果を他拠点とも共有し、全国への波及を推進していく。

④ 選定委員会からの主なコメントに対する対応方針

選定委員会からの主なコメント(改善を要する点)	対応方針
難治性疾患の初期診断・緩和ケアなどの地域構造の変化についての教育は地域包括ケアの教育に包括されているのだろうが、3大学すべてで十分教育が行われるか不明瞭である。	本事業では各大学が強みを持ち寄ると同時に、弱みを補完できるようにカリキュラム全体を見渡しなが事業推進に努める。難治性疾患や希少疾患などは3大学の強みを活かして総合診療科や内科が中心となり教育コンテンツの領域を相互に補完しながら学習コンテンツのライブラリーを整備する。
「地域医療交流実習プログラム」に参加する学生数(養成目標人数)が限定的であるため、この人数を段階的に増やしていくことが期待される。	安全かつ充実した実習体制の実施を第一段階とし、課題があれば解決しつつ段階的に養成者数の増加を図る。
VRコンテンツに関しては今後の見通しの記載が具体的ではないので実効性にやや疑問が抱かれる。	長崎大学で既に作成済みのVRコンテンツ(感染症対策)および教育用に選択したオープンソースVRコンテンツを三大学で共有する。今年度中に熊本大学において新規VRコンテンツ(災害医療・救急医療)を作成する。三大学でVRコンテンツ作成要領を共有し、次年度以降の新規コンテンツ作成に役立てる。
学長または学部長等をトップとした責任のある体制については明確でなく、予定の委員会などに学長又は学部長などの責任者の参画を期待したい。	医学部長が事業評価・管理委員会に参画し、事業の推進に強く関わる。
地域卒学生の卒業後の定着率向上は期待できるが、義務年限終了後にも地域医療に定着させるためのプログラムの進化を期待したい。	大学と自治体が連携して卒業後のキャリアにも責任を持ち継続的支援体制を整備する。